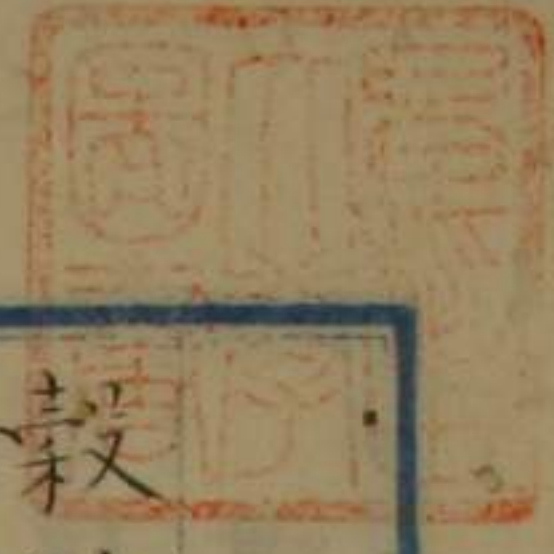


1089



穀物賣買社概則

穀物賣買社ノ幹事タル者此ノ社ヲ管轄センタ
メ左ノ規則ヲ設ケシナリ

第一條 穀物賣買社ノ役人ハ社長一名副社長

二名辨理^{ワケト}十名録事^{ロクジ}弁^{ワケト}庫司^{クラジ}一名之レナリ

第二條 社長ハ即チ在來或ハ新任幹事ハ一員

ニシテ社中弁ニ辨理集會ノ時ニ臨ミ上席ス

可シ

撰舉ハ其會員ノ投票ノ過半ヲ以テ決定スヘ

シト雖モ若シ其數相等シキ時ニ臨テハ社長

は

大正十一年四月

1671
1661



ヨリニノ投票ヲナシ以テ決定ス可シ
三名ノ辦理何等ノ儀ニ付辦理集會ヲ招ク
ト書付ヲ以テ願出レハ何時タリ其集會ヲ
招ク可シ又十五名ノ株主ヨリ社中集會ヲ招
カント書付ヲ以テ願出レハ何時タリ其集
會ヲ招ク可シ

第三條 一等副社長ハ社長并ニ二等副社長ト
モ兩長不在ノ時ニ至テハ社長有スル後同
權并ニ同職ヲ握ル可シ
總テ此ノ三名不在ノ時ニ至テハ社中ニカ全

權ヲ握リ一時社長ヲ撰舉ス可シ

第四條 辦理ハ四季ノ集會ヲ催ス可シ即チ四

月七月十月一月ノ最初月曜日之レナリ而シ

テ其時掌トル所ノ事務ノ順序左ノ如シ

第一 以前集會ノ總事務

第二 幹事ヨリノ諸報文

第三 記録上終テサル事務

第四 一般ノ事務

辦理ハ年々撰舉サレタル後最初水曜日ニ於
テ會社組立ノ儀ニ付録事ニ依テ招カレタル

非常集會ヲナス可シ

第五條 社中ニテ行務幹事三名ヲ撰舉シタル
後最初集會ニ於テ之レニ其年間奉職センコ
ヲ命ス可シ其中二名ハ職分ニ勝ヘ得ヘキ者
タル可シ而シテ他人役人管カラサル總テノ
職掌ヲ擔當シ社中ノ諸掛弁ニ傭人ヲ監督シ
以テ之レヲ管理ス可シ此社ヲ管轄センタメ
社中ニテ取設ケタル諸規則ヲシテ取り行ハ
シメンタメ注意シ庫司宛ニテ來ル所ノ總手
形等ニ印ヲ押シ弁ニ庫司ヨリ出ス處ノ報文

ヲ受取ラサル前ニ検査ス可シ

行務幹事ハ自己ニ擔當シタル處ノ事務ノ形
勢ヲ年々社中ニ通達ス可シ又社中ノ指揮ニ
從テ屢々之レヲ通達スルコトアリ

第六條 年々社中ニテ庫司一名ヲ撰舉ス可シ
而シテ庫司ノ職掌タルヤ社ニ屬スル處ノ總
財本ヲ握リ又總テノ諸契約書等ヲ保守ス可
シ

庫司ハ受取り或ハ遣拂ヒ金ノ計算ヲ明細ニ
記載シ置キ社中集合ノ時ニ臨ミ検査ヲ受ケ

シタメ此計簿ヲ出ス可シ而シテ社中ノ許ス
所ノ銀行へ財本ヲ付托ス可シ但シ右ハ會社
ノ付托金ニシテ私有ノモノニアラス
庫司ノ名前ヲ以テ發シ而シテ社長又ハ社長
不在ノ時ハ副社長ノ一名ニ因テ副記證印サ
レタル處ノ券書ヲ以テ總テノ遣拂ヲ為ス可
シ○社ノ負債タリト雖モ行務幹事ノ免許ヲ
得ルニアラサレハ之ヲ拂フ可ラス
庫司ハ社中ノ指揮ヲ受ケテ社ニ屬スル所ノ
殘金ヲ付托ス可シ

庫司ハ年々四度元社中ノ歲入表ヲ作り以テ社中ニ備
フ可シ而シテ庫司ヨリ發シタル精密ナル計簿ハ社中ニ
依テ檢査サレタル後毎年一月集會ノ時ニ出シ又社
中ノ指揮ニ從テ屢々計簿ヲ出ス可アリ

第七條

社中ニテ録事一名ヲ撰舉ス可シ

右ハ社中ノ望ニ從テ
廢スルコトモアリ

而シテ録事ノ職掌タルヤ辦理衆或ハ會社ノ集會ニ於
テノ總事務ヲ規則正シテ記録簿ニ載セ直ク可シ
録事ハ社中ノ命ヲ受ケ會社ヲ辦理集會ニ付
キ社員ニ通達ス可シ

録事ハ賣買掛ノ任ヲ受ケ定期ニ於テ其役所ヲ開

閉し而して成し得ル處ノ賣買ニ於テノ總事務ヲ記載
 ス可シ又行務幹事ニ依テ委任サシメル總務ニ注
 意ス可シ但し録事ハ行務幹事ノ配下ニ置ルナリ
 録事ハ會社ニ對シ株主ヨリ拂フ可キ總割賦
 金并ニ負債トナリタル所ノ總討求ヲ取ル
 チニ之レヲ庫司ニ渡シ而シテ其収票ヲ取ル
 可シ
 録事ハ職分ヲ盡サンタメ某元ノ證券ヲ差出
 ス可シ
 録事ハ給料ヲ受取ル可シ但し其高ハ辦理衆

ニ依テ定メラルナリ
 録事不在ノ時ニ至テハ行務幹事ハ一時代理
 一名ヲ命ス可シ
 第八條 日曜日并ニ祭日ヲ除クノ外ハ事務取
 扱ノタメ社中ニ依テ取用ラル、處ノ時間日
 ヲ賣買役所ヲ開ク可シト雖モ社友ノ合宜ノ
 タメ定期ヨリ殆ント羊時間前ニ之レヲ開ク
 可シ
 第九條 會社ノ仲間トシテ免サレタル年々ノ
 株主并ニ出版局ノ報告人ヲ除クノ外ハ府下

又ハ都外ノ人ヲ問ハス何人タリ凡商業ヲ録
シ或ハ取り行ハンタメ社中へ來訪ス可ラ
リツチモント又コンチエストルノ住民ナラ
スト雖モ何人ニテモ録事ニ自己ノ名前ヲ通
達スルコトニ依テ社員タルコトヲ得可シ然レテ
録事ハ此タメ預備セシ處ノ帳ニ其名ヲ載ス
可シ然レモ右社員ハ商務取扱フ可キ特許ヲ
有ツ可ラス

第十條 辦理ハ一月集會ノ時ニ臨ミ辦理中ヨ
リナラス社中ヨリ五名ノ幹事ヲ命ス可シ而

シテ幹事ノ職セキタルヤ其年問命ス可キ處ノ人名ヲ
一ノ票ニ記シ置ク可シ又辦理ハ三名ノ監事ヲ命ス
可シ而シテ其職當キタルヤ定期ニ於テ撰挙ヲナス
可シ而シテ此撰挙ノタメ投票サレタル人々ノ名
前ト又辦理トシテ撰レタル人々ノ名前トヲ記シ録
事ト共ニ連印紙ヲ以テ辦理ニ出ス可シ

第十一條 此賣買社ヲ管轄センタメ取設ケシ處
ノ規則ニ違背スルコトアレハ録事ヨリ之レヲ
行務幹事ニ告ク可シ而シテ行務幹事ハ之
ヲ辦理衆ニ告ク可シ然ル時辦理衆ハ之レヲ

處分スルナリ

第十二條 辦理衆ハ規則中ニ存セサルモノト雖モ之レニ違背ヤム又特許ニ背カスンハ此社ヲシテ充分ナル而シテ實効アル勤作ヲ行ハシメンタメ必要ナル總テノ規則ヲ取り設ク可シ

第十三條 此賣買社ノ仲間タルコソ欲スル人々ハ録事ニ名前ヲ告知ス可シ而シテ録事ハ行務幹事ニ其名前ヲ通達ス可シ若シ行務幹事之レヲ善シトセハ即チ之レヲ辦理ニ送り而

シテ社中ノ過半モ又之レヲ善シトセハ此請求者ヲシテ撰挙ヲ受ケシ者ト視做ス可シ

第十四條 辦理衆ハ同衆ヨリ力或ハ社中ヨリ五

名ノ幹事ヲ撰挙シ（右ノ中一名ハ録事）之レヲ

裁断幹事ト稱ス可シ○此幹事ノ中ヨリ一名

宛一季ノ終ニ至テ退職ス可シ而シテ辦理衆

其欽位ニ代ル可シ○裁断幹事ノ職掌タル

ヤ社友ノ關係ニタル高務上ニ於テ計算或ハ

契約ノ儀ニ争フタル事件又他ノ争論ヲ裁

断ス可シ

何時ニテモ裁断ヲ願フ仲間ハ録事ニ通達シ
詞訟ノ大意ヲ陳述シ而シテ幹事ノ決定ヲ以
テ満足スヘシトシテ保證ヲ出ス可シ

裁断幹事ハ詞訟ヲ決定シタル後一週日以内
ニ録事ノ手ヲ經テ書付ヲ以テ其關係ノ仲間
ヘ裁断ヲ申渡ス可シ

一詞訟有裁断ヲ願ヒシタメ拂フ處ノ謝金ハ
五元ヨリ下ラヌ又五十元ヨリ上ル可ラス而
シテ其高ハ此限制ヲ越スレテ幹事ニ因テ定
メラル可シ○其謝金ハ訴訟人ト訴訟カレタ

ル人トシテ出シ社ノ用金トシテ庫司ニ拂フ
可シ○裁断幹事ノ決定セシ詞訟ハ何時タリ
氏布告サル、時ニ當テハ即チ幹事之レニ印
ヲ押シ社長副社長及ヒ庫司モ之レヲ保證ス
可シ○一詞訟起リ會社ノ仲間ノ證要用ナル
ト幹事集會ノ時及場所ノ庫司ヨリ通達
セハ即チ裁断幹事ノ目前ニ出テ證ヲ出ス可
シ若シ故ナクシテ之レヲ拒メハ社中ヨリ放
逐ス可シ

第十五條 此賣買社ノ仲間タル者出セシ處ノ契

約ニ違背し而シテ裁断幹事ニ因テ之レニ違
背セシメノ裁断ヲ受ケンコトヲ拒ミ或ハ此社
中ノ面目ヲ失スル様ノ行跡ナルハ之レヲ
社長ニ告グ可シ而シテ社長ハ即チ社中ノ幹
事三名ニ吟味ヲ命ジ之ヲシテ白状セシム可
シ穿鑿ヲ遂タル後幹事ヨリ此仲間ニ罪アリ
ト通達シ而シテ又社中モ之レニ同意セハ此
仲間ヲシテ社友タルコトヲ免シ六十日余間賣
買社ヨリ放逐ス可シ而シテ再々同罪ヲ行ヘ
ハ一年余間放逐ス可シ又放逐サレタル仲間

ハ請求ヲ辦理衆ニナシ辦理衆ニテ投票シ不
満知ノ者三名ヲ出サル時ハ又社友タルコト
得ヘシ

第十六條 社中四季集會ノ時ニ於テ共議シ其會
員ノ三分ノ二同意セスンバ社中ノ規則ヲ改
正増補ス可ラス

Blank manuscript page with vertical blue lines for writing columns.

天
淵
集

